

平成30年7月15日発行

浜須賀地区まちのちから協議会 編集会

発行責任者 青木三郎 茅ヶ崎市松が丘2丁目8番63号 TEL 0467(87)1101

浜須賀地区まちのちから協議会 検索

印刷 仲手川印刷

浜須賀まちのちからニュース

浜須賀まちのちから



浜須賀地区まちのちから協議会 会長 青木三郎

浜須賀地区まちのちから協議会は、平成25年の設立から6年目に入り、協議会のまちづくり活動も多少定着してきたかと思われま。

平成30年度も防災、環境、身近な生活の問題について「住みよいまち浜須賀」を目指して、いろいろな活動を進めてまいります。まちのちから協議会は新しいコミュニティとして発足しており市との連携をより密にして、地域の問題の解決を図ることを目的としています。そのため現時点では次のような事業を行っています。

「浜須賀地区まちのちから協議会」の活動について

・防災について

防災部会にて市の防災対策課と地域の防災リーダーの協力のもと主として防災訓練実施について検討しています。防災訓練は避難所に別小中学校にて年一回実施しています。

避難訓練、救急救命・AEDの使い方、消火器の使い方、地震の震度の体験、煙の体験等さまざまな活動に役立つような内容で実施しています。

・行政と地域の問題解決 (市民のついで)

各地域の問題を提起し、市の現状と今後の考え方・進め方について説明していただいた後に意見交換を行います。

換を行い、地域の課題の解決を進めていきます。具体的には自転車通学の確保、信号機の設置等生活に密着した内容の対策が行われています。

しゃべり、子育てについての話を聞く、簡単なモノづくり等をつうじて子育ての悩み、不安等の解消に少しでも役立つような場所づくり活動です。毎回多くの方の参加があります。

・広報活動について

広報紙「浜須賀まちのちから」を年3回発行しています。まちのちから協議会を構成している各部会、各団体、小中学校等より活動内容や問題への取り組み状況を紹介します。これにより活動の理解、また参画を促し「より良い街」への推進を進めています。

環境部会にて主としてごみ処理の問題(分別、置き場、有料化他)の協議を図っています。まちのちから協議会は市と地域との連携により問題解決を図る仕組みであり一人でも多くの方の参加することにより、より良い地域づくり推進の力となります。これからも協議会のご理解と協力を願っています。

・すこやか赤ちゃんサポート

赤ちゃんと母親の参加によりお

いていきたいと考えています。グローバル化・情報化の昨今、AIの進化により職業が変わったり、高齢化・少子化で様々な課題があるこれからの未来を生き抜く力をつけるためには、対等な立場での対話を通して、多様な価値観を認め合い、個々の特性を生かして認め合う場面を多くつくること大切です。

進化し続ける浜須賀中をめざして

平成30年4月1日付で、浜須賀中学校の校長を拝命いたしました小林美佐子です。



浜須賀中学校 校長 小林美佐子

9年前から3年前までの6年間、前半は担任として、後半は学年主任として浜須賀中学校に勤務しておりました。地域を歩けば「先生お帰りなさい。」と声をかけられたり、朝、正門であいさつ運動をしていると卒業生が高校や大学・職場に向かう姿を見送ることができたりと、浜中との縁を感じながら教師として幸せな日々を送らせていただいています。

私が勤務していた6年間の前半は学校が落ち着かず大変な時期で

はありました。その状況下でも知的で明るく開放的な生徒が多いと感じました。我が子のために何かできないか、という協力的な保護者も多かったのです。

「授業改善の取組」「道徳教育の研修」「いじめ未然防止(スクールバディ)」「環境整備(花ポランティア)」です。その活動はその後の浜須賀中学校の校長先生をはじめ、教職員や保護者の皆様のご尽力、地域の皆様のご支援により継続・進化・発展しています。

3年ぶりに戻り、浜中生の姿を見て、より素晴らしい学校に進化

していることを感じ、感激いたしました。さて、今後私が目指す浜須賀中学校は、社会の宝である子どもたちが未来の社会で活躍し、より良い社会を創る人材を輩出する学校にすることです。

Table with 16 columns (Date, Day, Event Name, Location) and 16 rows of monthly activities from April to September. Includes legend for venues and a 'Yearly Activities' box at the bottom right.



浜須賀小学校 教頭 日高 恭子

はじめまして。この4月1日付
けで、浜須賀小学校の教頭に着任
いたしました。日高恭子です。私
は茅ヶ崎市出身ですが、横浜市の
教員として採用されたので、教師
としての始まりは横浜市でした。

浜須賀小学校の子どもたちと共に

13年前に、茅ヶ崎市に異動し、柳
島小学校教諭、茅ヶ崎市教育委員
会指導主事を経て、今に至ります。
私が茅ヶ崎市に異動したときの
話です。何度か面接試験を経て、
最後に当時の教育長が、面接をし
てくださった。私は緊張しな
がら、茅ヶ崎市出身であることや、
子育てをしていることや、他市で

教師として育てていただいたご恩
返しを茅ヶ崎で行いたいのだとい
う思いを伝えました。すると、「あ
なたは、お母さん先生なのですね。
今まで、たくさんのご苦労があっ
たことですね。あなたを必要
としている子どもと保護者がたく
さんいますよ。今までのご経験を
生かしていただきたい。どうぞ茅ヶ崎

を日々感動の思いで過ごしていま
す。
本校の子どもたちは、先生方の
長年の校内研究「きこう はなぞ
う つながろう」の積み重ねの成
果で、よくお話を聞いています。
素晴らしいです。
学校は、仲間と認め合い、安心
して人の言葉に耳を傾け、自分の
言葉で、学び合える場所です。
そのためにも、子どもが安心
してその場にいることができ、思

いや考えをその子なりの方法で、
率直に言い合える関係性をつく
る、私たち教職員の意思と力が必
要です。子どもの「わかった」「こ
んな風に考えた」という言葉が発
せられる素敵な瞬間を大切に、
学校全体で共有し、支えていくこ
とで、子どもたちは、自信をも
ち、自ら伸びようとする意欲につ
ながっていきます。日々の信頼関
係の積み重ねを大切に、共に学ん
でいきたいと思います。

わたしたち、ぼくたちは学年も家も違うが兄弟だ

ております。

現在、緑が浜小学校は全校児童
334名、各学年2クラス、合計
12クラスで、市内で3番目に児
童数が少ない学校です。また、昨
年の4月から、通級指導教室「そ
だちの教室」が開設されて、42
名の児童が週に1回保護者と通っ
てきています。「そだちの教室」は

たとえば、集団行動に苦手意識を
もっている児童に、主にグループ
活動等を通して、もっている力を
引き上げられるように、一人一人
の児童の状況に応じた指導や支援
を行う教室です。本校からも通っ
ており、他校の児童と楽しく過ご
しています。
さて、緑が浜小学校の校歌に

探検」として学校を案内します。
入学してからたった1年しかたっ
ていないのに、すっかりお姉さ
ん、お兄さんの顔になって自信に
満ちた表情で案内をしているの
を見てると、1年間の成長は大き
いと目を見張ります。また、「1
年生との交流会」では、歓迎の出
し物の他に、3年生から6年生が
協力して折り紙でつくったメダル
を2年生が1年生一人一人に渡し
ます。そこには、あたたかいメッ

セージが書かれています。
では、どうして、1年生に対し
てこのような関りが自然にできる
のでしょうか。それは、自分たち
も1年生の時にそうしてもらった
からです。緑が浜小学校に在る間
は、みんな兄弟であり、やさしさ
の循環がずっと続くように願っ
ています。
これからも、どうぞよろしくお
願いいたします。

浜須賀地区自治会連合会

■三連合

浜須賀住宅自治会

松涛会自治会

翠松会自治会

浜須賀地区の東南部に位置して
いる三つの小さな自治会が、球技
大会や体育祭等様々な行事に三連
合として協力しい活動をしてい
ます。

毎年十二月の暮には「餅つき&
芋煮会」を小和田浜公園にて大勢
の参加者と共に開催しています。

当日は松林の中、子供たちも大
人に助けをもらいながら重い杵を
持ち、楽しそうに餅をついていま
す。出来上がった餅はあんこ、き



餅つき&芋煮会(三連合)

な粉、海苔、大根おろし等を絡め
て頂きますが、特に人気があるの
がラムーチョです。
芋煮は大きな里芋と牛肉や野菜

が一杯入った醤油味です。防災用
の大鍋で3回作りますが、毎回好
評のうちに無くなってしまいます。
それぞれの自治会を超えて交流
ができる楽しい行事です。

■浜須賀自治会

「オナガの声が戻ってきたね」
という声がありました。カラスが
いなくなった証拠です。環境への
絶え間ない啓発と会員の高い意
識が生んだ賜物だと思います。他
方、お堀の白鳥は見る者に優雅さ
を与えますがその実、彼らの脚は
水面下で絶え間ない活動をしてい
ます。浜須賀自治会でも、各部会・
各委員・組/班長を中心に、高い
意識で絶え間ない取組みが行われ
ています。例えば、災害時安否確



防災パンダナ(浜須賀自治会)

認への「パンダナ訓練」、21号を
迎える「災害通信」、子供会によ
る「読み聞かせ」等々、「個人情報
保護法規定」作成では、連日叩
き台の案文が見えなくなる程、加
筆修正が入り各部会から戻るので
見て、頬が緩みます。目的は作成
そのものでなく、意識向上に向け
皆で考え、共有することですから。

■オーベル茅ヶ崎 ラチエン通り自治会

私たちの自治会は9期目、未
だヨチヨチ歩きの状態です。一方
「規約」には、「自助、互助、共
助、公助」の精神を協働・合意す
る(中略)親睦を図るための活動・
地域コミュニティ構築に資する協
働学習(ピア・ラーニング、ピア
・カンセリングなど)と明記。
言わば高邁な理想を掲げたわけ
ですが、一期では世帯主140代ま

での層が7割を占め、役員会の開
催すら危ぶまれる状況が続きまし
た。潮目が変わったのは餅つき大会。
万事に不慣れな役員を後目に、シ
ニアの皆さんが自発的に臼と杵の
使い方を子供たちに指導。これを
契機に、遅々たる歩みながらも、
少しずつオーベル・コミュニティ
が姿を現しています。

浜須賀地区社会福祉協議会

■ふれあい昼食会

去る5月18日(金)30年度1
回目のふれあい昼食会(対象…
松浜、浜須賀住宅、松涛会、翠松
会)が浜須賀会館で開催されまし
た。今回は食事の前に「振り込め
詐欺」について講話、神奈川県で
茅ヶ崎市が和和市に続いて2番目
に被害が多いので、細心の注意
を!! そのあとは包括支援セン
ター「あさひ」による血圧測定と
お口の体操があり、「えにじた会」

手作りの美味しい季節のお弁当をスタッフも同席して賑やかに頂きました。今回の午後のお楽しみは腹話術でした。珍しくも演者は女性で人形の名前は9ちゃん、5歳です。可愛いけれどちょっと生意気、その掛け合いが面白く会場内は笑いに包まれました。参加者からとても楽しかったと喜びの声をいただきました。

ふれあい昼食会は民児協のお誘い、「サポーターはますか」の会場準備など地域の皆様の応援で成り立っています。次回も大勢の参加をお待ちしています。



9ちゃんです

浜須賀地区民生委員児童委員協議会

75歳以上の方を

6月1日から75歳以上の方を対象とした在宅高齢者実態調査が始まりました。対象の皆様のお宅へ伺い、聞き取り調査にご協力をいただいています。日常の見守り活動に加え、緊急時の連絡先などを再確認し、調査内容を市で統計処理を行い、地域包括支援センターと共有して活用して参ります。

なお、65歳から74歳の方は、今回調査しませんがこれまで通り日常の見守りや困りごと相談などを引き続き行います。7月末まで調査を続けます。暑い時期ですが、皆様のご協力をお願い申し上げます。



75歳以上の方のお宅を訪問します

浜須賀地区体育振興会

浜須賀地区体育振興会では、スポーツを通して皆様の健康と親睦

を図り、地域の交流の場として皆様の協力を得ながら活動内容を

充実させていきたいと思っております。本年度も体育祭など恒例行事の開催を予定しておりますので、奮ってご参加下さいますようお願い致します。

二球技大会 6月10日(日)

本年度最初の事業である球技大会は、あいにく朝から雨の予報でいつ降ってもおかしくない状況でしたので、役員が浜須賀小学校に出向き協議を行い、やむなくソフトボールを中止しました。ソフトバレーボールは、熱戦が繰り広げられ、好プレーも続出しました。子供達も元気いっぱい声援をおくり、大変盛り上がりました。

- 結果** (ソフトバレーボール)
- 男子 優勝 菱沼海岸緑自治会B 準優勝 松浜自治会
 - 女子 優勝 菱沼海岸緑自治会B 準優勝 平和町自治会



ソフトバレーボール 女子



ソフトバレーボール 男子

平成29年度地区別親善大会 結果のご報告

2月18日(日)

第20回地区別親善ニュースポーツフェスティバルが、総合体育館・中央公園で開催され、ソフトバレーボールは女子2チーム、混合1チームとペタンク1チームが参加しました。

- 結果** (ソフトバレーボール)
- 女子 Aチーム 3位
 - 混合 2位パート 1位

ファミリーバドミントン大会

3月4日(日)

第5回地区別親善ファミリーバドミントン大会が総合体育館で開催され、3チームが参加しました。

- 結果** BブロックCチーム3位

浜須賀小学校区青少年育成推進協議会

浜須賀小学校区青少年育成推進協議会(浜須賀推進協)は、小学校区に居住する青少年、住民がお互いに連携、協力しながら青少年育成活動を推進しています。

子どもたちに様々な体験機会、交流の場を提供し、会話、対話を通して子どもたちとの関係づくりを行っています。

主な活動としては、子どもたちの安全、安心に関する支援活動として、【夏期夜間パトロール・年一回】・【ワンダフル隊】・【子ども110番の家 協力依頼】を行っています。

特に、月一回の【見守り強化日パトロール】は、子どもたちと顔見知りになり、気にかけてくれる大人たちが保護者、学校の先生の他にもいるという安心感・信

緑が浜小学校区青少年育成推進協議会

緑が浜小学校区青少年育成推進協議会(推進協)は、浜須賀地区と松浪地区の二つの地域で構成されています。今回は新しく浜須賀地区から加わった役員に、新たな目標で推進協に関して書いてもらいました。

『私は緑が浜小学校P・G・T(P・T・A)の役員として二年間推進協のお手伝いをさせて頂いてきたつもりですが、子どもの小学校卒業にあたり今年度より新しく役員として参加させて頂いたことになりました。学校の役員をする前はあまり聞きなれない、なじみの少ない団体のように思っていました。実際は学校や子どもたちに最も近くに

密に関わり、子どもたちの為に様々な行事に取り組み、活動している団体だということを知りました。

今年度も緑が浜小学校放課後のプラザ・みどりの夏祭り・親子釣り大会・本物に触れよう講座など、子どもたちの笑顔がたくさん見られるような活動を、学校や地域の方々と一緒にしていきたいと思っています。』

新しいメンバーを加え、楽しい行事を開催してまいります。小学校・中学校の先生方や地域の

皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。



本物に触れよう講座

浜須賀小学校PTA

浜須賀小学校は昨年度創立50周年という大きな節目を迎え、今年度は次の100周年への一歩を踏み出しました。

浜須賀小学校PTAも時代とともに、その活動内容や方法を試行錯誤し、変化させてきました。今年度は今後のPTA活動がより活発に負担少なく行えるよう、PTA専用のスマートフォンを導入し、連絡用の電話番号、メールアドレスを取得いたしました。これにより役員個人の個人情報保護、通話料金やチケット代の個人負担軽減を目指します。

また、目安箱の代わりとして、会員の方が意見や質問できるメールアドレスも設けました。手帳な連絡ツールですので、少しでも保護者の皆様の不満や不安が解消され、活動に関心、参加していただけたらと願っております。

活動方針である「共に育ち、育てよう」を実感できるPTAを目指し、子どもたちの学校生活がよ

りよいものになるよう、意味のある活動が続けていきます。今年度も、ご支援、ご協力よろしくお願いたします。



PTA専用PC & スマートフォン

主な活動予定

- PTA総会(4月)・運動会支援(6月)・ジュニアライフセイビング(7月)・親子の工作教室(7月)・学校へ行く週間支援(10月)・市P連スポーツデー参加(12月)・PTA委員会(年7回)・安全支援活動(4月、9月、1月)・広報紙「はまゆう」発行(年2回)・次年度役員選出活動(4月、12月)・P活動・茶話会・スタッフ、サークルによる支援活動他。

浜須賀中学校学級代表者会

浜須賀中学校学級代表者会は、PTA組織ではありませんが、学校と保護者が連携・協力して、浜須賀中学校の教育を進展させることを目的として活動しています。本年度も各学級から2名ずつ(特別支援級は1名)選出され、37名の保護者と先生方8名(校長・教頭・教務主任・各学年主任・生徒指導担当)で構成されています。年間5回の定例会を持ち、役員会・学年会・全体会を行っています。主な活動内容は、次の通りです。

- 1 体育祭(5月)での駐輪場の自転車整理と警備の手伝い
- 2 合唱大会(10月)での受付・駐輪場の手伝い、保護者・職員合唱の参加 *本年度から再び、茅ヶ崎市民文化会館で開催いたします。
- 3 毎日、花に水やり(花ポランタイプ)と年3回の花の植替え
- 4 リサイクルバザー(3月)の企画・運営
- 5 学級・学年懇談会、茶話会などの企画・立案

防災部会

これまでの大規模災害では、行政による救助が一刻を争うような現場のすべてに速やかに到着することが難しかったことから、「公助の限界が明らかになりました。一方で、地域の皆さんが連携して行う防災活動である「共助」が、被害の軽減に大きな力を発揮することとなりました。

市では、自主防災組織を中心とした地域での防災活動をさらに促進するため、その担い手である「防災リーダー」の育成に取り組んでまいりました。これまで浜須賀地区からも143人(うち女性48人)の方に研修会を受講いただいています。

者や障害者などの要配慮者を隣近所の方と協力して支えていただく活動など、自主防災組織の会長を補佐していただく役割が期待されます。

防災リーダーは、地域と連携した活動が重要であることから、研修会の受講にあたっては、自主防災組織会長からの推薦を基本として行っております。受講いただく方の年齢層の拡大など幅広い人材の発掘も大切となります。

自然災害の発生を防ぐことばできませんが、その被害の大きさは日頃からの防災の取り組みにより大きく異なります。災害による被害を軽減するため地域の繋がりによる防災活動の充実に向けご協力をお願いいたします。(防災対策課)

研修会は、防災の知識や災害時に用いる資機材の取り扱い方法の習得などを学んでいただく内容となっています。受講いただいた防災リーダーの方々には、地域における防災訓練の企画運営といった予防的な取り組みから、災害時における安否確認や避難誘導、高齢



浜須賀地区防災訓練(三角巾訓練)

環境部会



花の植替えボランティア

- 6 浜須賀会館まつり(10月)への参加(おでん販売)
- 7 青少年育成推進協議会の役員(浜須賀・松浪・緑が浜)
- 8 浜須賀会館管理運営委員会の委員
- 9 浜須賀地区まちのちから協議会の委員

平成30年度の環境指導員活動は4月18日(水)茅ヶ崎市開催の委嘱式及び研修会への出席にて開始しました。(浜須賀地区)では、12自治会23名の方が委嘱を受け活動中です。

5月23日(水)にはまちのちから協議会第一回環境部会が開催され、市環境事業センターより「ごみ処理に関する課題について」の説明がありました。

※市が抱える3つの大きな課題

- ①ごみの減量化・資源化
- ②ごみの処理施設
- ③ごみの処理経費

2ヶ月間の集積場所見回り活動や前記説明会を通じて、環境指導員(及び一市民)として、下記2点を推進したいと考えています。

■ごみ集積場所の整備と美化の推進

カラス・猫等による被害は「カラスいけいけネットボックス」や

地域包括支援センター「あさひ」

■要介護・要支援認定について

地域包括支援センターあさひでは29年度に浜須賀地区住民向け講座「あさひ教室」を初めて開催しました。テーマは「薬の飲み方や保管方法等について」で、浜須賀地区の薬剤師を講師に招き、わかりやすい説明を加えて一包化や薬取り出し器を実際に見て・触るといった体験型の講義を行いました。参加者からは「薬に対する理解が深まった」「薬への関心が高まった」という意見が多く寄せられました。今後は薬以外のテーマに関しても定期的に講座を開催し

■お出かけ機能アップ

平成29年度より茅ヶ崎市の事業として、お出かけ機能アップ教室が始まっていますが皆さまご存知でしょうか。この事業は、身体の機能が低下して日常生活に不安や支障がある方向けに、おむね



講義の様子。30名の方が参加されました。

4ヶ月間で運動・脳の活性化・口および栄養状態の向上を目指すためのものです。対象者は、基本チェックリストの結果、生活機能の低下が見られる65歳以上の方、または要支援1、要支援2のうち、(介護予防)ケアマネジメントが必要とされた方となります。地域包括支援センターあさひではこの事業に関する相談や基本チェックリストの実施も受け付けております。お気軽にご連絡または来所ください。

「カー・ラスネット」の普及で減少していますが、まだ時々散見されます。また、排出日・排出時間の間違いや分別の不備や他地区からの持込み等による不適正排出発着シールが貼られる物が多く、まだまだ改善と対策が必要です。

■ごみの減量化と資源化の推進

前記説明会にて、家庭から出される燃やせるごみの内、約22%の資源化可能な資源物(紙類・プラスチック製容器包装類)が多く含まれているとの事でした。

一人一人が分別を徹底すること、まだまだ資源化が図れます。現状の問題点・今後の課題等への取り組みについて、回覧物や配布資料にて情報提供させて頂き、情報の共有化を推進していきます。

今後、清潔で住みよい街づくりを目指し活動してまいりますので、引き続き皆様のご理解と協力をお願いいたします。

すこやか赤ちゃんサポート

すこやか赤ちゃんサポートは赤ちゃんのお母さんの応援隊です

浜須賀会館大広間 毎月第3木曜日 9時30分~11時30分

今年も4月から新しい赤ちゃんとお母さんが、すこやか赤ちゃんサポートに集まっています。

浜須賀地域にこんなに沢山の小さな命が授かっているなんて、なんと素晴らしいことでしょうか。神々しく愛おしいことです。

すこやか赤ちゃんサポートは赤ちゃんのお母さんの応援隊です。

さて、4月は乳幼児健康相談と一緒に、4月は55歳の豊替えを終え新しい香りのする中、新しい赤ちゃんを迎えました。健康相談で身長、体重測定・栄養相談を終えると、待ち構えたようにすこやか赤ちゃんサポートのメンバーが手作りコーナーへお誘いします。

手作りコーナーは、お母さんたちが我が子としばし離れて物事に集中します。赤ちゃん達はすこやかなメンバーが抱っこしたりして面倒を見ています。4月は翌月5月に初節句を迎える赤ちゃん達のために「兜づくり」を用意しました。赤ちゃんの頭に優しい和紙を使用した素敵な「兜」が出来上がり、お母さん方は大喜びでした。



5月は浜須賀保育園の先生が来館して手遊び、絵本の読み聞かせ、カスネットづくり



サポートスタッフ募集!!
TEL 87-1101

くり・おたまじゃくしなどのマイおもちゃ作りを指導してくれました。保育園の先生は真剣にお話を聞いてくれたお母さん方に感心していました。

編集後記

今回の12号はA3のカラー版4ページでお届けです。

1面に、まちのちから協議会の平成30年度の事業計画を、地域の一人でも多くの方に参加して頂きたく掲載しました。ホームページにも広報紙を載せています。「浜須賀地区まちのちから協議会」で検索してみてください。今年度も宜しくお願い致します。

「浜須賀地区まちのちから協議会」

古谷、角田